

現在※最強のコーティング剤 **HV-coat Premium GR** 滑水 を簡単に施工できるようにしました。

※2020年5月現在

「正真正銘の本物」a Completely Genuine!

HV-coat Premium GR jr.

世界初! ※滑水角5度を達成!

※平成31年2月現在



滑水角(かつすいかく)=水滴が滑り出す角度のこと

- ★ 硬度3H(鉛筆芯)で弾力性に富み塗装面のひび割れを防止
- ★ 透明度の高い光沢が長期間持続
- ★ モータープールでの新車コーティングにベストマッチ(作業時間約60分/台)
- ★ 樹脂部品、ラジエターグリル、無塗装樹脂パーツにも素地を傷めることなくコーティング可能です。
- ★ 鳥ふん、黄砂、花粉、酸性雨等からの損傷を防ぎます。



施工前

撥油(廃油)

撥水

長期光沢と防汚性能の両立

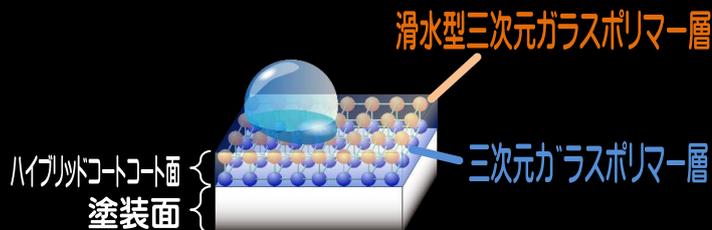
施工後

撥油(廃油)

撥水

アルミホイールにも最適

愛車を守るためのハイブリッド構造



ハイブリッド構造のポリマー層があらゆる汚れを寄せ付けず、塗装面を守ります。

(画像はイメージです)

施工可能箇所(新車専用)

- ・新車の塗装面 ・アルミホイール ・ガラス面(フロント除く)
- ・樹脂部品・プラスチック部品・無塗装樹脂パーツ
- ・家具・浴槽・トイレ・事務機・看板(金属製、樹脂製)

有効期間 (目安)

被膜保持: 約5年 (光沢保持期間)

撥油性: 約12ヶ月

撥水性: 24ヶ月以上 (参考データ: 60ヶ月相当での接触角97.6度)

(有効期間の撥油性はメーカー調べ、撥水性は大阪市立工業研究所調べです。)

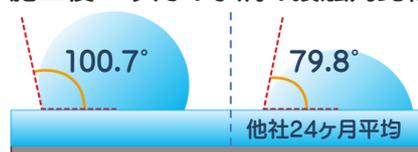
有効期間は車両の置かれている条件により差が出ることがあります。)

〔撥水促進試験結果〕

実際の太陽光・雨などを想定した試験データ ※1

特徴	
主成分	アルコキシオリゴマー ガラス系シリコンポリマー
耐久力	24ヶ月以上※1
接触角(30ヶ月後)	100.7度※1
接触角(60ヶ月後)	97.6度※1
作業時間目安	40分※2

施工後30ヶ月の水 droplet の接触角比較※1



接触角とは...

施工面に対して水滴がどれくらい弾いているかを示しています。

※1 2012年9月大阪市立工業研究所調べ。トップコートのHV-coatR3の結果。

※2 下地調整済み中型車の場合。下地作業時間は車両により異なります。

●この試験結果は全ての条件において効果を保証するものではありません。実走行車両の場合は、塗装面上に乗るホコリや砂などで接触角は変わります。また、取り扱い条件などが車両ごとに大きく異なりますので、促進試験データはあくまで参考資料にとどめてください。

#06750 **HV-coat GR premium jr.** 100ml (瓶入り)

#06751 **HV-coat GR premium jr.** 1000ml (瓶入り)



Professional **BULLCLEAN**®

当社のコーティング剤は、自社開発・製造品です。
製造・開発：株式会社ホーライ

名古屋出張所 愛知県春日井市八田町3丁目15番地24

TEL: 0568-85-3288

17001-230308

HV-coat GR jr. Premium

作業方法

※ HV-coat GR premium jr. は新車専用です。経年車にはお使いいただけません。
※ 下記の注意事項をよく読んで作業してください。

1 用意するもの



補修液

HV+ 滑水

※ 使用するマイクロファイバークロス、マイクロセーム等は、「HV-coat」の施工専用としてお使いください。他製品と混用すると効果が発揮できません。

施工用不織布
1~5枚水で濡らし固く絞った
マイクロクロス(マイクロファイバークロス) 1枚
濃色車の場合は、マイクロセーム 1枚乾いたマイクロセーム
1枚

2 下処理 (脱脂)



土砂類を専用シャンプー※を使用し落とします。この際、小キズ等の確認もします。

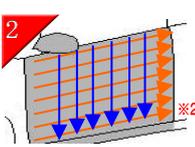
※ 専用シャンプー「レモンオイルクリーナー」で洗います。
※ 小キズが目立つ場合は、当社製磨き剤「ポリッシュP-26」で取り除いてください。

3 HV-coat GR jr. の塗布

車1/4の面積毎に※3
から※1を繰り返す。



HV-coat GR premium jr.を
手のひらサイズの不織布に十字を描くように
素早く取り※1塗布する。



固く絞ったマイクロクロスで拭きとります。



必ず乾いたマイクロセームで仕上げ

ムラがある場合

ムラがない場合

- ◎ サイド全面・トランク・天井・ボンネットの順に部分毎に仕上げます。
◎ 部分毎※3に本液を塗る→水で濡らして固く絞ったマイクロクロスで拭き取る→乾いたマイクロセームで仕上げる を繰り返します。
- GR施工用不織布を手のひらサイズに折りたたんで本液を十字を描くように素早く(2~3秒で)取り※1素早く②に移ります。
 - サイド全面・トランク・天井・ボンネットの順に本液を2~3滴追加しながら塗っていき※2、【ボンネット、フロント、左右フェンダー】の面積(冬季、車1/2の面積、夏季、車1/4の面積) ③の工程に移ります。
 - 一旦水で濡らして固く絞ったマイクロクロスで完全に拭き取ります。
 - その後、「必ず」乾いたマイクロセームで乾拭きをして仕上げてください。
 - コートがムラがあれば、③~⑤を繰り返します。
問題が無ければ、次の場所を①から繰り返してください。
 - ルーフ・ボンネット・トランク等の上面は2回作業を基本として下さい。
◎ 本液の拭き取りのタイミングは冬季はパネル2~4枚ごと、夏季はパネル1枚~2枚が目安です。
 - 最終仕上工程 ①~⑥の工程での拭き残し、ムラ等がないか確認します。
 - 水で一旦固く絞ったマイクロクロスで40~50cm四方をやさしく軽く拭き、速やかに乾いたマイクロセームで乾拭きし拭き残し、ムラ等を十分に確認します。全体を確認し完成です。

※1 塗装面に対し不織布が抵抗なく軽く滑るように動く量が理想です。
夏場などHV-coat GRの乾燥が早い時期は、不織布内で本液が乾燥することによるボディへのダメージを避けるため、早め(2パネル毎程度)に新しい不織布と交換して作業を続けてください。
※2 ドアの切れ目、マーカークロス、モール、ドアキャッチ等からは1cm位離して塗ります。
(塗装面以外にもホイール・ガラス・樹脂部分等にご使用になれます。)
※3 作業を区切る面積の目安は気温や湿度によって異なります。気温や湿度が高いと乾燥が早い為、夏場なら車全体の4分の1で③の作業へ移行、気温が低く空気が乾燥している冬場は、車全体の2分の1で2~4パネル程度で③の作業へ移行する等、状況に応じて対応してください。
※4 濃色車の場合は、マイクロセームを固く絞って作業することをお勧めします。

4 最終確認と修正



- パネルの中で区切りながら作業するため、コーティングが重なっている部分等でムラが発生した場合、通常は上の③~⑤で修正出来ます。
- 作業後、数時間経過してしまい、上記でのムラの修正が不可能な場合、HV+ 滑水を少量つけマイクロセームで平滑作業をし、上の③~④で仕上げてください。

注意事項①施工の前に：施工車の「小キズ、隠れた小キズ、パフ目」の存在を車両管理者に了解して頂くこと。(新車であっても90%程度の車両に存在します。)例えばワックスクリーナー等の有機溶剤で拭き取ると油性分が除去され、パフ目等を発見できます。対策として、熟練の磨き技術のある方が磨き直すことをお勧め致します。また、「HV-coat GR」で施工後その部分を弊社製品「HV+」でカバーし「HV-bright」で馴染ませるようにすると解決できる場合があります。②炎天下での作業禁止。火気厳禁。基材の温度が高い場合(30℃以上)は、必ず冷してから作業してください。③塗布したまま放置しないで下さい。④手あれ防止の為、保護手袋を着用し、素手での作業はしないで下さい。⑤「HV-coat GR」は完全に硬化するには、気温25℃、湿度75%として一週間、冬季で一カ月程度かかります。⑥再塗装の場合：研磨剤で除去して下さい。研磨剤にはノンシリコン系を使用して下さい。⑦使用済みのマイクロクロス、マイクロセーム等は洗剤でよく洗って下さい。硬くなったマイクロセームは使用しないで下さい。⑧作業の際、泡が目立つ場合がありますが正常です。⑨濃色車の場合は、塗り込み作業、仕上げ作業とも「マイクロセーム」を使用する事をお勧めします。⑩親水性・低撥水性のコート面への施工は撥水性に変化しますのでご注意ください。⑪施工面に鉄粉が付いている場合は、あらかじめ鉄粉除去剤やトラップネド等を使用し除去しておくことと効果的です。⑫施工面に水垢が付いている場合は、あらかじめ除去しておくことと効果的です。(少量ならHV-coat にて除去出来ます。)
⑬施工面に小キズが多い場合は、ノンシリコン研磨剤等でポリッシングし平滑化すると効果的です。⑭施工後は強いアルカリ、酸性の洗剤の使用は避けてください。⑮気温が低い日や、湿気が多い日に仕上げのカラ拭きが不十分な場合、曇った様な状態になる場合があるので、その様な条件の日には特に拭き残しのないように乾いたマイクロセームで仕上げて下さい。曇りが発生した場合は、再度乾いたマイクロセームで確実に仕上げると解消され、再発を避けられます。⑯使用するクロス等はHV-coat 施工専用にして下さい。⑰使用したマイクロクロス、マイクロセームはシリコン分を含まない中性洗剤で洗い、日陰で乾燥させてください。⑱水道水・地下水(井戸水)をお使いになった場合、乾燥するまでに確実に拭き取ってください。(水滴を放置すると水道水・地下水の中のカルキ分、ミネラル分が塗装面に残留する場合があります。)